

話題の講義ライブ
LIVE 2013

Today's Program

コミュニケーション・ワークショップ演習

RYUKOKU UNIVERSITY
龍谷大学



政策学部 政策学科

5.24.Fri. at Fukakusa

13:15~14:45

村田 和代 教授



「今日はこれまでの基礎編のまとめと、応用編となる後半のイントロダクションを共有するために全クラスを集まってもらいまして」と、村田先生による主旨説明から講義が始まった。「コミュニケーション・ワークショップ演習」は、いつもは約25名の少人数クラスで活動しているが、講義の折り返し地点にあたる今日は全12クラス合同の全体講義となった。学生はもとより、各クラスを担当する先生、さらに講義運営をサポートする教育補助員の先輩らが一堂に会

「今日のは、初回講義以来、約2カ月ぶりだ。その間、各クラスでは、コミュニケーションをめぐる基本的なトピックについて、話し合いの実施・観察を行い、よい話し合いとはどういうものかについて考えてきた。話し合いなら今まで何度もやってきたし、大学でわざわざ学ばなくても……と思う人もいるだろう。しかし、村田先生は「話し合いには適切なマナーやルールがあるが、普段は気に留めていないものです。それらは可視化して意識しないと学べない」と指摘する。



VOICES 学生の声
of University Students



林 沙有利さん (中央右)
政策学部 政策学科2年
一つのテーマをグループの皆で突き詰めていくなかで、コミュニケーションの難しさや大切さを改めて感じます。個別の勉強とは違った喜びや達成感が得られるのも、この講義の魅力です。

太田 祐介さん (左)
法学部 法律学科3年(教育補助員)
「話し合い」というと他者と意見を戦わせる議論になりがちなので、協調性を重視するこの講義はとても新鮮でした。先生と学生のサポート役として、常に頼られる存在でありたいです。

谷 友太さん (中央左)
政策学部 政策学科2年
普段、何気なくしている「話し合い」がこんなに奥深いものだとは、この講義を受けるまで気づきませんでした。毎回新たな発見があり、刺激を受けます。

大西 朋子さん (右)
政策学部 政策学科3年(教育補助員)
昨年の講義で、仲間に自分の思いをうまく伝えられず、少し悔しい思いをしました。教育補助員である今は、細やかな目配りや声かけを心がけています。納得のいく話し合いをしてもらいたいです。



村田 和代 先生
龍谷大学政策学部教授。奈良女子大学大学院人間文化研究科博士課程単位取得。ニュージーランド国立ヴィクトリア大学大学院言語学科Ph.D.(言語学博士)取得。専門は社会言語学。異文化間コミュニケーション、職場談話、話し合い談話、特にボライトネス(言語の対人関係機能面)を中心に研究を行っている。

龍谷大学

- 文学部
- 経済学部
- 経営学部
- 法学部
- 政策学部
- 理工学部
- 社会学部
- 国際文化学部
- 短期大学部

【沿革・歴史】

- 1639年 京都西本願寺境内に学寮が竣工され龍谷大学の歴史が始まる
- 1655年 幕府の命令により学寮を破却、以後「学林」と称す
- 1876年 学林を大教校と改称する
- 1879年 大教校落成。 ※現在の太田キャンパス(京都市)本館など
- 1922年 旧制大学令による認可を受け、龍谷大学と改称。
- 1949年 新制大学令による龍谷大学となり、文学部(4年制)を開設
- 1950年 短期大学部開設
- 1960年 深草キャンパス(京都市)開設
- 1961年 経済学部を開設
- 1966年 経営学部を開設
- 1968年 法学部を開設
- 1989年 瀬田キャンパス(大津市)開設。理工学部、社会学部開設
- 1996年 国際文化学部開設
- 2009年 創立370周年
- 2011年 政策学部開設。龍谷ミュージアム開館
- 2012年 文学部臨床心理学科開設

資料の請求およびお問い合わせ先

URL <http://www.ryukoku.ac.jp/admission/>
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 入試部
TEL 075-645-7887 FAX 075-645-4155

【オープンキャンパス情報】

- 瀬田キャンパス**
7月21日(日) 10:00~16:00 (予定)
8月24日(土) 10:00~16:00 (予定)
- 深草キャンパス**
8月3日(土)・4日(日) 10:00~16:00 (予定)
9月29日(日) 10:00~16:00 (予定)

詳細は、龍谷大学入試情報サイト
(<http://ryukoku.ac.jp/admission/>) でご確認ください。

**対話を通して意見の多様性を知り
互いが納得できる「話し合いの能力」を育てる**

講義の流れ
「コミュニケーションをめぐるさまざまなテーマの話し合いの実施・観察・振り返り」といった一連の活動を通して、よい話し合いとは何かについて考える。少人数制のワークショップ形式。他者と協力して課題の達成ができる「コミュニケーション能力」が培われる。

よい話し合いを実現するための話し合いに大切なことについて考える

実施・観察・振り返りを経て合意形成のプロセスを体感する

「話し合い能力」を持つ逸材に
きたる応用編の演習では、基礎編で得た「話し合いの方法論の実践」が大きなテーマとなる。応用編の課題は、「あなたにとって働くことは？」というテーマでグループごとに約2分間のムービーを作成・発表する、というものである。この課題には「話し合い能力」の向上に加え、働く意義を追求した学生が自分自身の将来像を形作りやすくなるという利点もある。

この講義で培った力の見せどころだ。「相手を論破するのではなく、お互いを尊重しながら合意形成を行える話し合いのエキスパートは、これからの参加・協働型社会にとって不可欠な存在。政策学部が教育目標に掲げる、地域で活躍し、地域社会を変えようとする『地域公共人材』に必要な不可欠な素養です」と村田先生。スタート2年目にして龍谷大学教育改革支援制度に採択され、政策学部の教員が協働で開発したプログラムである。学内外の注目を集める講義であるだけに、今後の学生たちの成長が楽しみだ。